決算審査特別委員会

一般会計決算審査特別委員会

平成19年第３回市議会定例会の初日、平成18年度かすみがうら市一般会計歳入歳出決算の認定、平成18年度かすみがうら市土地取得特別会計歳入歳出決算の認定についての２議案の審査を行うため、10名の議員で一般会計決算審査特別委員会を設置いたしました。特別委員会では、９月12日・13日、市長、教育長並びに各担当部課長の出席を求め、慎重に審査を行い、全会一致で原案のとおり、認定されました。最終日の本会議で報告し、賛成多数で認定されました。

《委員会での審査内容の主なもの》

Q 当初予算要求した議員研修費を支出せず、全額不用額にしたのはなぜか。

A 研修を実施する期間が年度末まであったので不用額としました。今後は、一般財源を確保する観点から減額補正で対応します。

Q 区長会の補助金について、霞ヶ浦地区は一戸あたり700円、地区割で6万5,000円から8万5,000円の歳出になっているが、来年はどうなるのか。

A 霞ヶ浦地区だけに補助しているもので合併後３年が経過しているため、区長会の役員会の中でも20年度は廃止する方向で説明しています。

Q コミュニティーバスの運行事業について、停留所以外で乗り降りさせることは規約に違反していないのか。また、過剰なサービスとなっていないのか。運行の中で特定の人ばかりが使用しているように見える。

A 停留所以外にバスを停めて乗せることは、業者の方には指導したのですが、結果としてまた発生しているようなので、注意いたします。運行するにあたり、土浦警察署と相談し安全を考慮した上で停留所を設置したので、徹底していきます。

Q 障害者福祉の扶助費3,300万円の不用額の内容は何か。

A 予算計上では見込で計上しました。自立支援法施行に伴い利用者の負担が増加した分、市の負担が減少しました。

Q 農業振興費の不用額について伺う。

A 主だった不用額は、果樹産地総合整備事業の不用額216万1,000円、園芸施設整備事業での不用額56万3,000円で残りは、水田営農条件整備事業の不用額です。

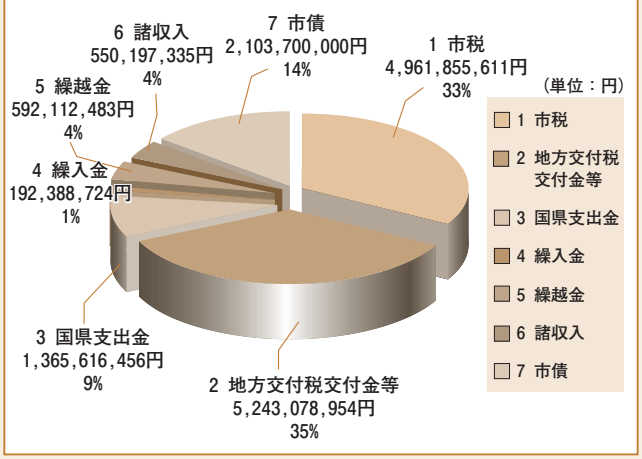
Q 耐震化優先度調査委託の内容を伺う。

A 市内の小中学校の校舎39棟・体育館11棟が対象で調査し、耐震化の優先順位をつけました。

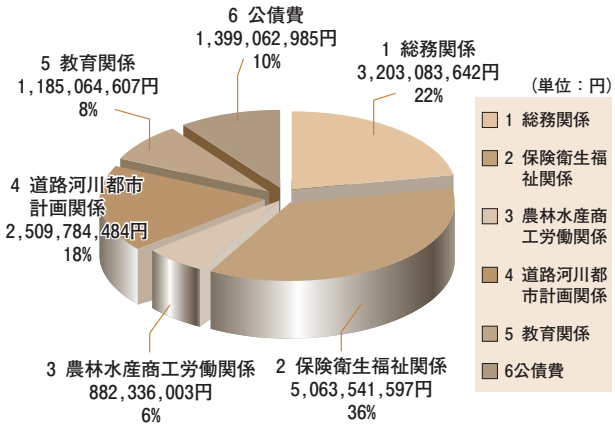
一般会計決算額【歳入】150億894万9,563円　【歳出】142億4,287万3,318円

（17年度決算額【歳入】149億9,242万6,019円【歳出】144億31万3,536円）

平成18年度かすみがうら市一般会計決算（収入済額）



平成18年度かすみがうら市一般会計決算（支出済額）



特別会計決算審査特別委員会

平成18年度かすみがうら市国民健康保険、老人保健、下水道事業、農業集落排水事業、介護保険特別会計歳入歳出決算・水道事業会計決算の認定についての審査を行うため、10名の議員で特別会計決算審査特別委員会を設置いたしました。特別委員会では９月12日に、各担当部課長の出席を求め、慎重に審査を行い、全議案すべて、全会一致で原案のとおり、認定されました。最終日の本会議で報告し、賛成多数で認定されました。

《委員会での審査内容の主なもの》

Q 財政徴収収入について、国では収納率が悪いとペナルティーを課せられるが減額率を伺う。

A 国で示している人口によっても変わるが当市では１万から５万人の被保険者にあたり、前年との収納率が87%から90%未満の範囲で７％の減額、90%から95%未満の範囲で５％の減額となります。

Q 老人保健特別会計の医療給付費について経年度的にはどうなっているのか伺う。

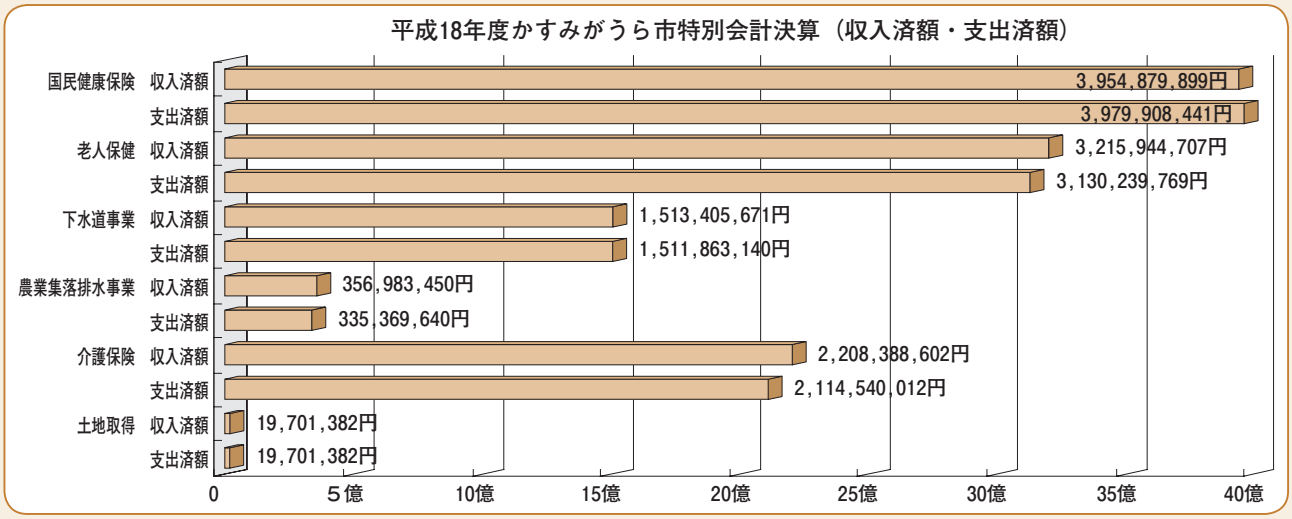
A 総額で、平成16年度32億４千万円、平成17年度32億２千万円、平成18年度は30億円です。

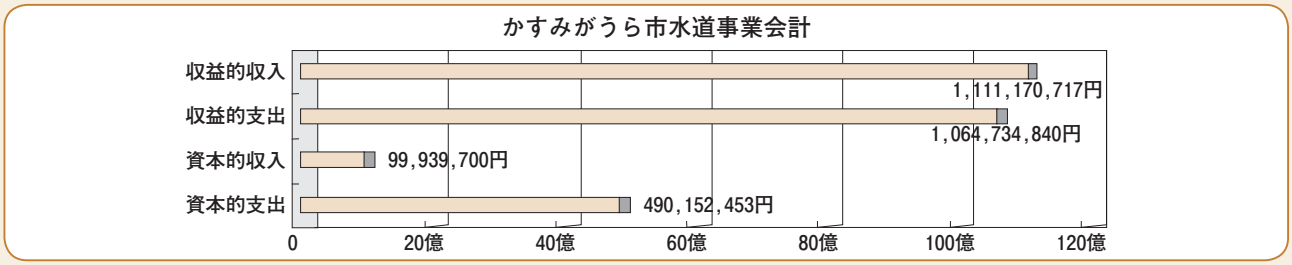
Q 水道事業の経営の効率化について伺う。

A 第一は支出を抑えること。それから、収益を上げることです。その中には、職員では対応しにくく委託したほうが運営しやすい業務があります。そのひとつは、料金の徴収業務で民間会社に委託しております。業務委託することにより給水停止等による滞納整理を十分に実施することができます。その結果として、収納率が若干、向上しています。過去の滞納分については、現在の滞納分と併せた金額の徴収を実施しているところです。また、職員では対応できない専門的な機械設備についても業務委託して、できる限り故障がなく不明水を配水しない運営の体制を執ります。

特別会計決算額【歳入】112億4,960万2,329円　【歳出】110億7,192万1,002円

（17年度決算額【歳入】96億7,048万9,211円【歳出】94億311万174円）



水道会計　【収益的収入】11億1,117万717円　【収益的支出】10億6,473万4,840円
【資本的収入】　9,993万9,700円　【資本的支出】　4億9,015万453円

17年度水道会計　【収益的収入】11億3,519万2,116円　【収益的支出】10億9,147万5,228円
【資本的収入】　1,055万1,850円　【資本的支出】　3億9,591万7,235円